Blue

黒桜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト
http://pdfnovels.net/

注意事項

このＰＤＦファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にＰＤＦ化させたものです。
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのＰＤＦファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
Ｂｌｕｅ

【Ｎコード】
Ｎ７１９０Ｚ

【作者名】
黒桜

【あらすじ】
前作の改善だと思っていただけると嬉しいです。
キャラが違ったり、ストーリーが違ったりしますが、スルーでｗｗ

アカヴィシアノ歴史

「近づくな、死ね！　呪われた子が！」
そう言われ続けて、何年が経つだろう。時間はものすごいスピードで流れ去って、俺に苦痛だけを与え続けた。
（何故、俺だけが……！）
何度もそう思ったが、その訳は周りのアカシアの噂話で耳に入ってきた。一万年に一人という確率で生まれる、呪われしアカシア。それが俺、らしい。
俺が子供だろうが、周りのアカシアは、容赦ない。そんな奴等を見ていて分かった事は、“ヒトという生き物は、己と異なる者に対してどこまでも冷酷になれる”という事。最初は罵声を浴びせられるだけだったが、年月が経つにつれ、ヒートアップしてきた。寒さしのぎに抱えていた薄い布に火を点けられたり、刃物を持って追いかけられたり、矢を放たれたり……。
あぁ、こんなことを思っている間にも、包丁を持った若い男が、こちらに向かって歩いてくる。速く逃げなきゃ、殺される。傷だらけの重い身体を引きずって、走る。後ろから、足音が迫ってくる。振り向く間もなく、ひた走る。
「ごめんなさい……！」
衣擦れの様な言葉を呟いた。
頬を伝った涙は、あまりに虚しく、残酷で――。

ＰＤＦ小説ネット発足にあたって

　ＰＤＦ小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は２００７年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にＰＤＦ形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのＰＤＦ小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能（たんのう）してください。

この小説の詳細については以下のＵＲＬをご覧ください。
http://ncode.syosetu.com/n7190z/

Blue

2011年12月23日23時51分発行